



岐阜北週報

2月 平和と紛争／紛争解決月間

□ 題 字	安藤 武司	□ 会 長	安藤 武司	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	小泉 宣昭	2016-2017
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	波多野光裕	No.1664
		会報委員長	白井 毅子	17.2.22発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1663 回 例会 2/15 (水) 夜間例会	第 1664 回 例会 2/22 (水) 卓話 (7)	第 1665 回 例会 3/1 (水) 慶祝行事 クラブフォーラム (8)
担当：会長・幹事・会員増強委員会	担当：片桐・林 会員	担当：クラブ奉仕委員会

会長挨拶・夜間例会



皆さん、こんばんは。

本日は、昨年(2016)の10月12日(1回目夜間例会)に続いて、2回目の夜間例会となります。

(会長・幹事・会員増強委員担当)

今回のテーマとしまして「会員増強討論会」とさせていただきます。当クラブでも過去に、様々な誘致方法などが検討、話し合いがされてきました。今回は「討論会方式」で盃を交わしながら、意見を出し合ってください。

<セミナー内での意見の一部>

様々なご意見がある中、「入会勧誘は、候補者の質を重視し、数のみを追わない」「増強は入会者を増やす増員ではなく、クラブを活性化し質の高い会員を維持することであり、それがより良い増強となり、将来強い日本RCを創る途である」・・・この考えが中心となっていま

会長挨拶・夜間例会 続き

した。岐阜RC杉山幹夫元会長が言われていた中に「増強はしても増弱はするなよ」・・・「量より質」会員自体が、高い質、器量を持たねば、優れた会員を推薦するには、心からロータリーを思う会員と言えます。

増強の言葉には、「数を増やす」意味と「機能を強化する」意味が含まれています。全国では「会員増強セミナー」が開催されていますが、基本となるのは「クラブの活性化であり、会員が満足するクラブの質の高さです。

会員数の多いクラブと少人数のクラブでは誘致方法や手段も違ってくると思います。尚、来月の3月5日はAグループ増強セミナーが開催されます。

<過去でのセミナー内容の一部>

- ・新会員誘致の成功例の発表
- ・増強効果のあったアンケート調査の発表
- ・各個人の経験談
- ・女性会員誘致の方法&成功例
- ・退会会員防止例
- ・趣味、サークルでの参加、同趣味者へのアプローチ
- ・職業奉仕と空席職業分類への充填増強の関係

<ロータリアン個々の職業上の手腕と才能・・・>

- ・社会的地位と経済力はあらゆる奉仕活動の原動力となる>

出席報告

会員数：30名
出席数：19/30名
出席率：63.33%
欠席者：11名（出席免除 6名 83.33%）

例会行事

【原尾会員増強委員会会長・挨拶】



【芸妓さんの舞踏】



次回例会のご案内

第1665回 例会 3月1日（水）
慶祝行事・クラブフォーラム（8）

担当者：クラブ奉仕委員会

会報・広報 2月担当 西垣 康紀